

# SOY CMSの特徴

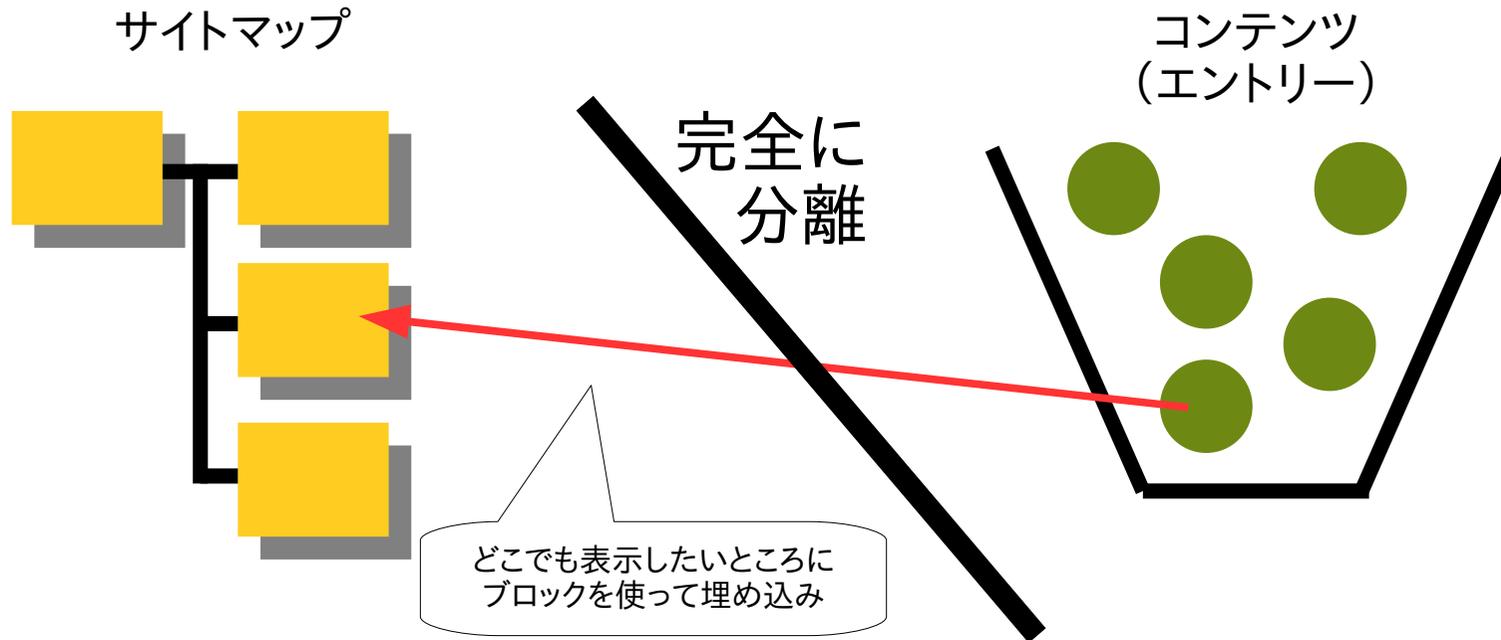
SOY CMSは

- サイトマップとコンテンツ
- デザインと動作

を可能な限り切り離していることを特徴とする汎用CMSで、HTMLさえ知っていればあとは追加の知識ほとんどなしに利用することができます。

# SOY CMSの特徴

## サイトマップとコンテンツの分離



SOY CMSでは、「ページ」と「エントリー」という二つの単位で情報を扱います。ブログ型CMSのように、ページを作ればエントリーは自動的にそれに関連付けられる、わけではありません。「ページ」はサイトマップを構成する部品、「エントリー」はサイトの中のどこでも自由に表示できるコンテンツ、という風にご理解ください。

この特徴のため、SOYCMSはサイトの情報設計にほとんど制限を加えません。ユーザ、管理者のことだけ考えて最適なサイト設計をしさえすれば、CMSの設定は後から考えてもほとんどの場合問題なく対応することができます。

# SOY CMSの特徴

## デザインと動作の分離

```
<!-- block:id="demo" -->  
<h2 class="title" cms:id="title"> デモサイトです！ </h2>  
<p cms:id="content"> この部分がエントリーの  
本文に書き換えられます！ </p>  
<!-- /block:id="demo" -->
```

SOY CMSのページのテンプレートの記法はこのようになっているので、デザインと動作がほとんど干渉しません。

block:idのタグで囲まれた範囲(上の例だと<h2...</p>)がひとつの「ブロック」となり、**エントリーの埋め込みの対象となります**。管理画面からたとえば「demo」という「ラベル」のついたエントリーが5件あって、そのうち3件を表示すると設定を行えば、「ブロック」が3回繰り返して表示され、繰り返しのたびに**「cms:id」が記述されたタグには含まれた部分が**、cms:id="title"ならエントリーのタイトルに、cms:id="content"ならエントリーの本文に**書き換えられます**。

※ブロックを設定しても、**cms:idが設定されていなければただブロック内のhtmlが繰り返されるだけで**エントリーの内容に書き換えは行われませんのでご注意ください。

# SOY CMS導入 参考フローチャート

サイトマップを表現するのに使うページの種類は主に標準ページとブログページの二種類ですが、サイトの設計が終わったあと、SOYCMSを組み込むにあたって、どのページをどの機能を使って表現するのがいいか考えるひとつの参考にしてください。**これだけが正解とは限りません。**

